

みなと・海・浜辺のファン拡大

人々の生活の質を向上することと地域を活性化するためには、豊かな海・海辺と人々の関わりを回復することが重要です。そのために、人々が海・浜辺を市民の共有財産(コモンズ)として認識し、自らその魅力向上のために参加、行動できる場を提供します。



関東地方整備局のみなとオアシス

関東地方整備局では首都圏で初となる「みなとオアシス」として平成20年12月16日、茨城港大洗港区、木更津港、館山港の三カ所を認定し、各みなとオアシスを核として、みなと・海岸・広場などの施設やスペースを活用した、継続的な賑わい創出活動(定期的なイベントの開催等)が展開されることにより、地域の活性化が期待されます。

「みなとオアシス大洗」

「みなとオアシスのコンセプト」・・・ウォーターフロントの利用促進を図り、多くの人々に親しまれるみなとを目指し、誰もが憩える交流拠点としてのみなとまちづくりを進める

- 設置者: 大洗町長
- 運営主体: 大洗町
- 構成施設: ◎大洗マリンタワー(情報発信、交流スペース)、大洗サンビーチ(交流スペース)、大洗海浜公園(交流スペース)、大洗マリーナ(情報発信、交流スペース)、フェリーターミナルビル(情報発信、交流スペース)、大洗わくわく科学館(情報発信)、町営駐車場、大洗リゾートアウトレット(情報発信、交流スペース)、第4ふ頭(交流スペース)

※各施設(第4ふ頭以外)に、駐車場、トイレを設置

《交通アクセス》 ◎大洗マリンタワーまで

(電車)大洗鹿島線「大洗駅」よりバス海遊号(かいゆうごう)「大洗マリンタワー」下車すぐ

(車)北関東自動車道・東水戸道路「水戸大洗IC」より国道51号10分



「みなとオアシス木更津」

「みなとオアシスのコンセプト」・・・都市の新たな賑わいを創出する交流拠点づくり

- 設置者: 木更津市長
- 運営主体: みなと木更津再生構想推進協議会
- 構成施設: ◎きさらづ海の駅(情報発信、交流スペース)、木更津マリーナ(情報発信、交流スペース)、鳥居崎海浜公園(交流スペース、駐車場)、中の島公園(交流スペース)、木更津港湾ターミナル(情報発信)、木更津市内港公園(交流スペース、駐車場)

※各施設にトイレを設置

《交通アクセス》 ◎きさらづ海の駅まで

(電車)JR「木更津駅」より徒歩12分

(車)東京湾アクアライン「木更津金田IC」から約10分、館山自動車道「木更津南IC」から約15分



「みなとオアシス“渚の駅”たてやま」

「みなとオアシスのコンセプト」・・・館山港を活用した、南房総地域の経済活性化の推進

- 設置者：館山市長
- 運営主体：館山市
- 構成施設：◎交流拠点“渚の駅”たてやま（情報発信、交流スペース、駐車場、トイレ）、宮城地区耐震岸壁（交流スペース）、館山港多目的棧橋（交流スペース）、新井海岸（交流スペース）、北条海岸（交流スペース、駐車場、トイレ）、JR館山駅西口ふるさと情報センター（情報発信）

《交通アクセス》 ◎交流拠点“渚の駅”たてやままで
 （電車）JR「館山駅」西口より徒歩15分
 （車）館山自動車道「富浦IC」から国道127号線を経由して約15分



JR館山駅西口ふるさと情報センター



館山港多目的棧橋



交流拠点“渚の駅”たてやま



北条海岸